【 診療科：乳腺外科 】
【 レジメン登録番号：SB-50 】

〈 トロデルビ療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール（day）											
			1	2	3	4	5	6	7	8	・・・・・	15	・・・・	21
トロデルビ	10mg/kg	div	○							○				

【1コース期間： 21 日】　　【総コース数：制限なし】

【適応癌種： 乳癌（TNBC） 】

【時期： 術前 、 術後 、 手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準
添付文書参照			

投与プロトコール

〈第1,8日目〉

Rp	薬剤名	投与経路（速度）
Rp.1	アプレピタントカプセル 125mg	p.o.
Rp.2	H_2 Blocker 1A	div（15分で）
	H_1 Blocker 1A	
	アセリオ 1000mg	
Rp.3	5-HT_3R Blocker 1A	div（30分で）
	デキサート 3.3mg※1	
	生理食塩液 50mL	
Rp.4	トロデルビ 10mg/kg	div（初回3時間で）（初回忍容性が良好であれば1時間に短縮できる。）
	生理食塩液 250mL	
Rp.5	生理食塩液 50mL	div（全開で）

〈第2,3,9,10日目〉

Rp	薬剤名	投与経路（速度）
Rp.1	アプレピタントカプセル 80mg	p.o.

【参考文献：トロデルビ点滴静注用添付文書、N Engl J Med 2021;384:1529-41 】
【備考：1：infusion reaction予防として解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤及びH2受容体拮抗剤の前投与を考慮すること。】
【備考：2：※1アプレピタント併用しない場合はデキサート増量も検討すること。】
【備考：3：投与中は輸液バックを遮光すること。（ルートは遮光不要）】
【備考：4：投与するトロデルビの濃度範囲が1.1～3.4mg/mLとなるよう調製すること。】

【変法情報： 】